

令和元年上半期火災・救急・救助概要（概数）

小松市消防本部

火災概要

令和元年上半期（1月～6月）の出火件数は2件で、前年同時期に比べ5件減少しました。
 建物火災は2件で、前年同時期に比べ2件減少し、そのうち住宅火災（専用住宅、共同住宅及び併用住宅）については1件発生しています。また、火災による負傷者が1名発生しました。
 出火原因別でみると、「放火」、「ボイラー」が出火原因となっています。
 損害額は1,334千円で、前年同時期に比べ543千円増加しています。

区分		年	令和元年	平成30年	増減
火災件数	合計		2	7	▲5
	建物火災		2	4	▲2
	林野火災				0
	車両火災			3	▲3
	船舶火災				0
	航空機火災				0
	その他火災				0
焼損棟数			2	4	▲2
り災世帯数			1		1
面焼積損	建物床面積（㎡）		19	4	15
	建物表面積（㎡）		0	6	▲6
	林野（a）				0
損害額（千円）別	合計		1,334	791	543
	建物	建物	1,009	300	709
		収容物	325	134	191
	林野				0
	車両			357	▲357
	その他				0
死者数					0
負傷者数			1		1
火災発生間隔日数（日）			90.5	25.9	64.6
焼火損元程度建物	全焼				0
	半焼				0
	部分焼		1	2	▲1
	ぼや		1	2	▲1
住宅用火災警報器設置件数（ ）は住宅火災件数			1(1)	0(0)	

救急概要

令和元年上半期(1月～6月)の救急出動件数は2,035件で、前年同時期に比べ32件増加しました。1日平均すると11.2件の出動となり、10年前の同時期に比べ約31.5%増加しています。全体の搬送者の内、約64.5%が高齢者です。
搬送人員は1,968人で、小松市民の約55人に1人が利用したことになります。搬送した傷病者のうち約45.2%は軽症者でした。

区分		年	令和元年	平成30年	増減
救急出動件数	合計		2,035	2,003	32
	急病		1,310	1,244	66
	交通事故		174	166	8
	一般負傷		291	331	▲ 40
	転院搬送		211	203	8
	上記以外		49	59	▲ 10
救急搬送人員	合計		1,968	1,913	55
	急病		1,252	1,184	68
	交通事故		185	163	22
	一般負傷		279	318	▲ 39
	転院搬送		211	202	9
	上記以外		41	46	▲ 5
傷病者搬送年齢別	高齢者		1,269	1,193	76
	成人		547	575	▲ 28
	少年		74	70	4
	乳幼児		78	75	3
	新生児		0	0	0
傷病程度別	死亡		60	61	▲ 1
	重症		265	304	▲ 39
	中等症		754	717	37
	軽症		889	831	58
	その他		0	0	0

救助概要

令和元年上半期(1月～6月)の救助出動件数は25件で、前年同時期に比べ4件減少しています。出動の約7割は交通事故によるものです。
救助活動件数は12件、救助人員は12人と前年同時期に比べ減少しました。

区分		年	令和元年	平成30年	増減
出動件数			25	29	▲ 4
活動件数			12	13	▲ 1
救助人員			12	14	▲ 2